

## 文部科学省一時帰宅者スクリーニングチーム

派遣先：福島県福島市（福島県自治会館）（県内一時帰宅地）

派遣期間：平成23年6月5日（日）～6月9日（木）

派遣人員：放射線部 副技師長 濱津 尚就

施設課電気 係員 飯島 圭

平成23年6月5日から同9日まで、文部科学省一時帰宅者スクリーニングチームとして副診療放射線技師長濱津尚就、施設課電気係飯島圭の2名で参加いたしました。

福島自治会館を拠点に南相馬市、楢葉町等の一時帰宅者の支援を行いました。一時帰宅者中継場所3か所を回り、一時帰宅者の支援を行いました。

スクリーニングチームとして参加した我々の業務は、福島第一原発から半径20km以内に居住していた方々で現在警戒区域内になっており自宅に帰ることができない方々が、2時間だけ帰宅する一時帰宅におけるスクリーニングをすることが今回のミッションです。

### 【1日目】

朝6時半、県庁に集合しバスで2時間かけて中継地点の広野中央体育館（第二原発のすぐ近く20キロ圏近く）に到着し、9時から現地で簡単な打ち合わせを行いました。

当日の担当エリアでは、20人乗りバス5台で計99名の一時帰宅者の予定でした。

会場では一時帰宅する方の受付、1時間程かけてタイベックスーツに着替える説明や、立ち入り時の注意事項など説明していました。

これには、原子力保安院、東京電力、電気事業連合会からの支援者、放医研（REMAT）の医療グループ、福島県警、厚労省の関係者ら総勢60人近い人たちが一時帰宅する人たちの着替える手伝いなどしていました。

帰宅者が帰ってくる前に我々もタイベックスーツに着替え、綿手袋の上にゴム手袋、スパッツ着けて待機しています。

帰宅バスが到着すると順番に測定していきます。

第1陣40人に4レーンで約25分、第2陣59人に約45分、あと各バスの放射線管理者や案内人、先導の警官、救急隊員など20人程を含め2時間以内に測定するため、全員タイベックの下は汗だくです。

町内放送で、朝 9 時と午後 3 時に町内の空間線量率を放送するのですが、午後 3 時で 0.43mSv/h と放送していたのでやはりやや高いようです。  
今日は、楢葉町の一時帰宅が初めてだったのでマスコミが多く押しかけていて、NHK のニュースに第 1 レーンで測定している姿がニュースで流れていました。

### 【 2 日目】

朝 6 時半、県庁に集合しバスで 2 時間かけて中継地点の馬事公苑（第一原発のすぐ近く 20 キロ圏近く）に到着し、9 時から現地で簡単な打ち合わせを行いました。

本日の担当エリアでは約 180 名のスクリーニングを行いました。

南相馬市の一時帰宅者は最大は荷物で 4kcpm 程度でした。

我々は 0.4kcpm 程度です。

スクリーニング会場は最大 4.7  $\mu$ Sv/h 程度でした。原発からの近さがわかりません。

毎日の線量が今日くらいだと年間被曝が約 40mSv となるそうで、被災者の心情を考えると複雑です。

### 【 3 日目】

朝 6 時半、県庁に集合しバスで 2 時間かけて中継地点の川内村体育センター（第一原発のすぐ近く 20 キロ圏近く）に到着し、9 時から現地で簡単な打ち合わせを行いました。

本日の担当エリアでは約 160 名のスクリーニングを行いました。

川内村は現在全村避難しており、人の気配はなく、ゴーストタウンと化しています。

会場の線量 0.4  $\mu$ Sv/h です。一時帰宅者の被曝量は最大 22  $\mu$ Sv でした。

なお、昨日測定ですが福島県庁 1.1  $\mu$ Sv/h、福島駅前 1.4  $\mu$ Sv/h と市内の方が線量が高くなっていました。

2 泊目には余震を体験しました。

警戒区域内には 60  $\mu$ Sv/h を超えるエリアが存在しており、地域住民が実際に自分の家に帰ることができるのは相当先のことになりそうです。高齢の方もたくさん一時帰宅されており心中複雑です。

今回の一時帰宅支援に参加し、福島第一原発における現状をみて、確かに我々が豊かな暮らしをするために電力は必要です。しかし、本当にそこまで豊かな生活をする必要があるのか考えさせられました。みんなのできる一番のエコは節電で、その方法はそれぞれが少しずつ我慢をすることなのではないかと思いました。デマンドがうなぎ上りに増えていく本学についても、本当に今必要な電力なのか少しでも考えることができればと思います。



6/6 スクリーニング  
・クリーニング会場  
・町の会場手前のテントは自衛隊による仮設



6/6 スクリーニング  
・一時帰宅者スクリーニング



6/6 スクリーニング  
・富岡町町民 タイベック着用



6/6 スクリーニング  
・集合場所 福島県自治会館



6/6スクリーニング  
・自衛隊による除染施設



6/6スクリーニング  
・福島県自治会館 災害対策本部  
毎夜ミーティングを実施  
厚生労働省、文部科学省が中心となっています。



町の様子

- ・震災の爪痕はまだ見受けられます。



6/7 スクリーニング

- ・馬事公苑 スクリーニング装備



町の様子

- ・歩道の破損



6/7 スクリーニング

- ・最大4.7  $\mu\text{Sv/h}$  を記録しました。



町の様子

- ・一方で、復旧工事も進んでいます。



6/7 スクリーニング

- 自衛隊 除染施設内部を撮影



6/8 スクリーニング  
・川内村体育センターの様子



6/7 スクリーニング  
・馬事公苑 スクリーニング装備



6/8 スクリーニング  
・一時帰宅用のバスの様子



6/8 スクリーニング  
・一時帰宅者がタイベックを着ています。



6/8 スクリーニング  
・基礎が剥離して建物が傾斜しています。



6/8 スクリーニング  
・全村避難しており誰もいません。  
・奥に見える送電線は福島第一原発へ向かっています。